

# 最終評価シート

## 最終評価（表紙）

### 下諏訪町 歴史的風致維持向上計画(平成21年3月11日認定) 最終評価(平成20年度～令和4年度)

■ 統括シート(様式1).....	2
■ 方針別シート(様式2)	
I 文化財をはじめとした歴史的建造物の保存整備.....	3
II 歴史的町並み景観の保全及び良好な景観形成.....	4
III 祭礼などの伝統文化の伝承.....	5
IV 住民主体の歴史を視点としたまちづくり活動.....	6
V 歴史的資産を核とした文化財ネットワーク.....	7
VI 点在する文化財等の歴史資産とその周辺環境.....	8
■ 波及効果別シート(様式3)	
i 交流人口の増加による地域の活性化.....	9
ii グランドデザイン策定.....	10
■ 代表的な事業の質シート(様式4)	
A 歴史的風致形成建造物「伏見屋邸」の整備活用.....	11
■ 歴史的風致別シート(様式5)	
1 諏訪大社の祭礼に見る歴史的風致.....	12
2 お祭りに係る歴史的風致.....	13
■ 庁内体制シート(様式6).....	14
■ 住民評価・協議会意見シート(様式7).....	15
■ 全体の課題・対応シート(様式8).....	16

市町村名	下諏訪町	評価対象年度	H21～R4年
<b>① 歴史的風致</b>			
	歴史的風致	対応する方針	
1	諏訪大社の祭礼に係る歴史的風致	I, II, III, V, VI	
2	お祭りに係る歴史的風致	I, II, III, IV, V, VI	
<b>② 歴史的風致の維持向上に関する方針</b>			
	方針		
I	文化財をはじめとした歴史的建造物の保存整備		
II	歴史的町並み景観の保全及び良好な景観形成		
III	祭礼などの伝統文化の伝承		
IV	住民主体の歴史を視点としたまちづくり活動		
V	歴史的資産を核とした文化財ネットワーク		
VI	点在する文化財等の歴史資産とその周辺環境		
<b>③ 歴史まちづくりの波及効果</b>			
	効果		
i	交流人口の増加による地域の活性化		
ii	ランドデザイン策定		
<b>④ 代表的な事業</b>			
	取り組み	事業の種別	
A	歴史的風致形成建造物「伏見屋邸」の整備活用	歴史的風致維持向上施設の整備・管理	

市町村名	下諏訪町	評価対象年度	H21～R4
方針	I 文化財をはじめとした歴史的建造物の保存整備	今後の対応	継続展開

### ① 課題と方針の概要

少子高齢化の進行による氏子の減少などにより、諏訪大社において建造物の修理費用の捻出が困難になりつつある。また、後継者不足により継続的な維持管理に支障が生じてきている。

指定文化財については保存の措置を充実するため、必要な文化財について保存整備を支援するとともに普及啓発を進めて活用を図る。それ以外の建造物についても、特に保存の措置が必要なものについて歴史的風致形成建造物に指定して、十分な史実調査に基づく保存の措置を行ったうえで、積極的に公開してその活用を図る。

### ② 事業・取り組みの進捗

	項目	推移	計画への位置付け	年度
1	高札場・島木赤彦住居復元修理	歴史的建造物の復元修理完了	あり	H21～28
2	文化財の修理	諏訪大社下社春宮・秋宮における国指定重要文化財7棟の保存修理完了	あり	H21～24
3	文化財の防災	保存修理に伴い諏訪大社下社の防災施設を整備	あり	H21～R4
4	文化財の保存及び活用の普及・啓発	文化財の保存推進により広く普及啓発	あり	H21～R4

### ③ 課題解決・方針達成の経緯と成果

国指定重要文化財（諏訪大社下社）については、町内のすべての建造物について保存修理が完了した。

歴史的風致形成建造物伏見屋邸の復元修理に伴い、近隣の歴史的建造物所有者の意識が向上、町の助成を受けて、修景整備が行われた。また、活用運営の担い手として「伏見屋邸サポート倶楽部」が発足し、文化財の活用と普及啓発が図られており、今後のさらに広範な活用の普及啓発の推進が期待される。

建造物の防火対策については町産業振興課及び消防課が、諏訪大社春宮及び秋宮、熊野神社、慈雲寺、来迎寺などの文化財を中心に防火パトロールを行い、消防設備等を点検するとともに所有者の防災意識の再確認・意見交換を行い、文化財の防災体制の維持を図っている。



高札場復元後



高札場の賑わい

### ④ 自己評価

歴史的風致形成建造物伏見屋邸の復元修理に伴い、近隣の歴史的建造物所有者の意識が向上し、修景助成につながっている。後継者不足や経済的理由により着手が控えられている状況もあるが、歴史的建造物の滅失抑制効果が認められる。

### ⑤ 今後の対応

経済情勢などの要因により個人所有の歴史的建造物について、保存修理が進まない状況ではある。支援措置等の丁寧な説明をしていく中で、保存整備の推進、さらには利活用につながっていくよう支援を継続していきたい。

市町村名	下諏訪町	評価対象年度	H21～R4
方針	Ⅱ 歴史的町並み景観の保全及び良好な景観形成	今後の対応	継続展開

① 課題と方針の概要

門前町であり宿場町でもあり温泉街である旧中心市街地においては、少子高齢化が進み、街道沿いと下諏訪宿の歴史的な町並みの維持が困難な状況。現存する歴史的建造物の保存と町並み景観の保全及び良好な景観の形成など市街地環境の保全が課題。現存する歴史的価値の高い建造物の保存整備等により歴史的町並み景観の保全を図り、良好な景観形成を促進するため市街地環境の整備を進める。

下諏訪町景観計画に基づく景観誘導及び規制等の施策により良好な景観形成を促進する。

② 事業・取り組みの進捗

	項目	推移	計画への位置付け	年度
1	景観計画の策定	H24年8月に景観計画策定	あり	H21～24
2	伏見屋邸の復元	江戸時代後期の建築様式に基づく外観の復元修理完了	あり	H21～22
3	道路美装化事業	諏訪大社下社春宮周辺、下諏訪宿地区周辺のL=1,527m区間を整備	あり	H21～R3
4	無電柱化推進事業	1路線(町道宮街道線(湯田坂))の整備	あり	H21～23
5	案内施設整備事業	点在する文化財を結ぶネットワークを構築(15箇所整備)	あり	H21～R4

③ 課題解決・方針達成の経緯と成果

住民の参画を得て景観フォーラムの開催、景観まち歩きの実施等を通じて景観計画を策定した。平成22年度に伏見屋邸復元修理が完了し、周辺住民への歴史的建造物を核としたまちづくりが広がる。

信州の山並みを背景とした街なみ景観にするため、無電柱化を推進した。

また、町内の歴史的風致の要素を有機的に伝え、それぞれを訪れ歩くことによって下諏訪町の歴史的風致を体験できるよう、案内施設の整備を行った。

これらの策定・整備により良好な景観形成に繋がっている。



伏見屋邸復元前

④ 自己評価

従来地域の活性化を目的として活動してきた組織が、歴史文化を視点としたまちづくりに着目して活動が活性化している。

また、景観計画が策定されたことにより、町全体が景観区域となり、特に下諏訪宿景観形成重点地区においては、良好な景観形成が促進されている。

整備済路線においては、特に観光旅行者の利用が顕著に見られ、住民によるイベントが積極的に開催されるなど、整備効果が発現されている。



伏見屋邸復元後

⑤ 今後の対応

引続き、景観形成を促進するため、残された区間の道路美装化を行う等、市街地環境の整備を進めたい。

市町村名	下諏訪町	評価対象年度	H21～R4
方針	Ⅲ 祭礼などの伝統文化の伝承	今後の対応	継続展開

① 課題と方針の概要

1, 200年以上の歴史を持つという県指定無形民俗文化財御柱祭の伝統文化は人から人へ体験的に伝承し、郷土意識を醸成していくことが大切だが、後継者と資金の不足により伝統文化の伝承が困難。  
 下諏訪町の特徴的な歴史と伝統を反映した人々の活動を活性化し、良好に伝承していくために、伝統文化の担い手である保存会等の活動を支援し、伝統文化の普及啓発による後継者の育成を図る。

② 事業・取り組みの進捗

	項目	推移	計画への位置付け	年度
1	文化財の保存及び活用の普及・啓発	第1区騎馬保存会、第3区騎馬保存会の2団体衣装や道具の整備に対する助成措置を行う 所作のDVD制作を行う	あり	H21～R4

③ 課題解決・方針達成の経緯と成果

町指定文化財「騎馬行列の所作」について、保存会2団体へ助成支援を実施し、各団体により諸道具の整備や小学生を中心とした後継者の育成に積極的に取り組んだ。  
 騎馬行列の所作は7年に一度開催される諏訪大社式年造御柱大祭において披露されるものだが、小中学生の育成のため、所作の一部について毎年8月1日に開催される諏訪大社下社遷座祭において発表がなされるなど後継者の育成に効果が発現している。平成30年度には所作を伝承していくためのDVDを制作した。  
 町指定無形文化財保持者の下諏訪町木遣り保存会では、小・中学生に木遣りの指導を行い、後進の指導に努めているほか、小中学校、保育園、地域の分館等の求めに応じて、児童等に木遣りの指導を行い、文化の伝承に努めている。



町指定文化財騎馬行列の所作



諏訪大社下社遷座祭時の様子



全国木遣りサミットH25. 9. 23

④ 自己評価

「騎馬行列の所作」については下社遷座祭・御柱祭では見慣れた風景となっている。  
 また、町指定無形文化財「諏訪大社下社の御柱木遣り」所持者においては、「全国木遣りサミット」を開催し、伝統文化の伝承に関する活動が行われている。  
 令和4年度の御柱祭でも見事に披露された。

⑤ 今後の対応

引き続き、人から人へ体験的に伝承し、伝統文化の普及啓発に努めていきたい。

市町村名	下諏訪町	評価対象年度	H21～R4
方針	Ⅳ 住民主体の歴史を視点としたまちづくり活動	今後の対応	継続展開

① 課題と方針の概要

下諏訪宿地区ではまちづくり協議会が発足して地域の歴史や文化財を活かしたまちおこし活動が活性化。住民主体の歴史を視点としたまちづくり活動が活性化し、活動の主体が全体的に発生してそれぞれが効果的に交流されるよう、文化財等の保存と活用の主体となる多くの住民組織が設立されることが必要。伝統文化を正しく伝承するため、地域住民の積極的で主体的なまちづくり活動を支援する。また、地域の歴史や文化財を活かした主体的なまちづくり活動が町内各地で立ち上がるよう普及啓発に取り組む。

② 事業・取り組みの進捗

	項目	推移	計画への位置付け	年度
1	住民主体のまちづくり協議会活動の活性化	4協議会がそれぞれ花苗植栽事業、案内看板の修復、三角八丁等のイベントへの参加等の自主的な活動を行っている。	あり	H19～R4
2	住民による景観形成の推進	住民組織による景観に配慮したポケットパーク「中の辻」の造成	あり	H21

③ 課題解決・方針達成の経緯と成果

住民主体のまちづくり協議会活動は当初は3協議会だったが、4協議会になり、活性化している。

街並みにあわせた屋号灯の設置、花苗植栽等協議会は活発に活動が行われている。

歴史的風致に係る意識の浸透により、住民組織「第1区春遊会」による歴史的建造物と景観に配慮したポケットパークの造成などが推進されてきた。



ポケットパーク造成前



ポケットパーク造成後

④ 自己評価

既存のまちづくり団体の活動と意見を反映しながら歴史的風致維持向上計画を策定したことにより、町民の既存の団体に対する注目度は高くなった。

住民主体によるまちづくり活動を行っている4協議会への助成等の支援を行うことで活動しやすい環境づくりに取り組んだ。

⑤ 今後の対応

今後も地域住民の歴史文化を視点としたまちづくり意識が向上していくよう、団体の活動や意見を尊重し、その活動に助成等の支援を行っていきたい。

市町村名	下諏訪町	評価対象年度	H21～R4
方針	V 歴史的資産を核とした文化財ネットワーク	今後の対応	継続展開

① 課題と方針の概要

文化財等の歴史的な資産を住民主体のまちづくり活動の拠点とし、これらを核としたネットワークを構築することにより、活動を全町的に波及させ文化財や歴史的資産の保存活用を促進することが必要。  
 拠点となる歴史的建造物を保全整備し、さらに点在する文化財等を有機的に連絡させて回遊性のある文化財ネットワークを構築し、活用と人々の交流を推進する。

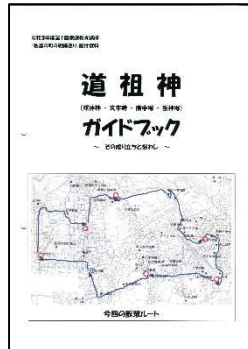
② 事業・取り組みの進捗

	項目	推移	計画への位置付け	年度
1	住民主体のまちづくり活動の拠点づくり	「三角八丁」のイベント時に歴史的建造物を徒歩で巡る人々が増加	あり	H21～R4

③ 課題解決・方針達成の経緯と成果

伏見屋邸の整備と管理運営団体の組織化により、伏見屋邸は住民活動の拠点となった。年2回春と秋の「三角八丁」のイベント時にスタンプラリーのポイントとするなどの広報により、歴史的建造物を徒歩で巡る人々が増加した。

住民が集うまちづくりの拠点として地域の「公民館分館」の活動がある。第7区分館ではまちづくりの基礎となる地域を知る活動の一環として「私達の町の史跡巡り」を行い、地域の辻々にある道祖神について学習してガイドブックを作成した。そうした地域の活動から町内の歴史的建造物への関心が高まっている。



三角八丁開催時の様子

④ 自己評価

「伏見屋邸」を拠点としたお年寄りと生徒との歴史文化伝承のため、「おもてなし実習」「宿泊体験」等を通して学習が定着し、住民が主体となった歴史を視点としたまちづくりが進捗している。  
 また、重点区域からその周辺へ歴史まちづくりによる地域活性化の活動が広がっている。

⑤ 今後の対応

住民が主体となった歴史を視点としたまちづくりが引き続き行われていくよう、管理者や団体等と意見交換を行うなど対応をしていく中で、文化財や歴史的資産の保存活用を促進していく。

市町村名	下諏訪町	評価対象年度	H21～R4																				
方針	VI 点在する文化財等の歴史資産とその周辺環境	今後の対応	継続展開																				
<p><b>① 課題と方針の概要</b></p> <p>中山道甲州道中の沿線や諏訪大社下社の参道において歴史的景観等の連続性が失われている。現状では、文化財等の歴史資産を核としたネットワークの構築とあわせ、点在する文化財等の歴史資産をその周辺環境を含めて面的に保存し活用することが必要。</p> <p>文化財ネットワークの構築とあわせて、歴史的建造物等の借景となる信州の里山環境の整備により文化財等の周辺における面的な歴史的景観形成を促進する。</p>																							
<p><b>② 事業・取り組みの進捗</b></p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>項目</th> <th>推移</th> <th>計画への位置付け</th> <th>年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>指定文化財周辺における環境整備</td> <td>下社秋宮の周辺小公園の修景整備（千尋池）</td> <td>あり</td> <td>H21～23</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>住民による文化財周辺環境の整備</td> <td>景観に配慮したポケットパークの造成（中の辻）</td> <td>あり</td> <td>H21</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>小公園整備事業</td> <td>「千尋池」「青塚通り小公園」「高木津島公園」「四ツ角湯けむりひろば」を整備</td> <td>あり</td> <td>H21～R3</td> </tr> </tbody> </table>					項目	推移	計画への位置付け	年度	1	指定文化財周辺における環境整備	下社秋宮の周辺小公園の修景整備（千尋池）	あり	H21～23	2	住民による文化財周辺環境の整備	景観に配慮したポケットパークの造成（中の辻）	あり	H21	3	小公園整備事業	「千尋池」「青塚通り小公園」「高木津島公園」「四ツ角湯けむりひろば」を整備	あり	H21～R3
	項目	推移	計画への位置付け	年度																			
1	指定文化財周辺における環境整備	下社秋宮の周辺小公園の修景整備（千尋池）	あり	H21～23																			
2	住民による文化財周辺環境の整備	景観に配慮したポケットパークの造成（中の辻）	あり	H21																			
3	小公園整備事業	「千尋池」「青塚通り小公園」「高木津島公園」「四ツ角湯けむりひろば」を整備	あり	H21～R3																			
<p><b>③ 課題解決・方針達成の経緯と成果</b></p> <p>国指定重要文化財諏訪大社下社秋宮の建造物周辺において小公園「千尋池」の修景整備を行った。</p> <p>歴史的風致に係る意識の浸透により、住民組織「第1区春遊会」による歴史的建造物と景観に配慮したポケットパーク「中の辻」の造成などが推進された。</p> <p>令和3年度までに、4箇所のポケットパークが整備され、地域住民により良好に活用及び管理がされている。</p> <p>これらの整備により、歴史的景観等の連続性が失われることの抑制につながった。</p>																							
<p><b>④ 自己評価</b></p> <p>4箇所のポケットパークについては、地域住民と観光客の憩い・交流の場となっている。</p> <p>また、まちづくり団体等と民公協働による維持管理を行い、良好に活用及び管理が行われている。</p> <p>また、地元事業者による温泉を周知する「ふろの日」イベントが行われる等、地域の活性化につながった。</p>																							
<p><b>⑤ 今後の対応</b></p> <p>引き続き、まちづくり団体等と民公協働による維持管理を行っていききたい。</p> <p>未整備の綿の湯跡については、「綿の湯を含めた周辺一体で整備を進めていくべき」という意見が出たことから、ランドデザインの中で考えていく事になった。将来あるべき姿を住民、事業者、学生、行政が議論・検討を行い、その将来像（ランドデザイン）を共有・認識し、整備を行っていききたい。</p>																							



四ツ角湯けむりひろば



御柱祭開催時四ツ角湯けむり広場



市町村名	下諏訪町	評価対象年度	H21～R4
効果	i 交流人口の増加による地域の活性化		
① 効果の概要 住民活動の活発化により、イベント等での賑わいにつながる。			
② 関連する取り組み・計画			
	他の計画・制度	連携の位置づけ	年度
1	小公園整備事業	あり	H21～R3
2	道路美装化事業	あり	H21～R3
3	案内施設整備	あり	H21～R4
4	高札場復元事業	あり	H21～26
5	島木赤彦住居復元事業	あり	H21～27
6	文化財の保存及び活用に関する事項	あり	H21～R4
③ 効果発現の経緯と成果 下諏訪町が支援する下諏訪社中学校による「伏見屋邸ワークショップ」においては歴史的風致形成建築物伏見屋邸における歴史的建造物を活用した総合学習に一定の成果が確認され、歴史的建造物を拠点とした歴史文化の伝承の有効性が確認された。 今でも社中学校の生徒が家族や仲間とイベント時に立ち寄る等、活性化につながっている。 イベント時にスタンプラリーのポイントとする等の広報により、歴史的建造物を巡る人々が増加している。			
		 <p>下諏訪社中学校生徒と伏見屋低サポート倶楽部との三角八丁イベント</p>	
④ 自己評価 歴史的風致維持向上計画により歴史文化を反映する文化財等が広く伝わったこと、地域の歴史文化を視点とした住民活動の活性化により、観光旅行者の増加も図られた。			
⑤ 今後の対応 新型コロナウイルスの影響で観光客増加が見込めず、まちづくり協議会の活動も制約される現在の状況だが、コロナが終息した際には再び、まちづくり協議会の活動が活性化し、イベント等で賑わいが戻ってくるよう、協議会と更なる連携を図っていきたい。			

市町村名	下諏訪町	評価対象年度	R3～R4																
効果	ii グランドデザイン策定																		
<p><b>① 効果の概要</b></p> <p>10年、20年先のまちのあるべき姿、目指すべき姿を住民、事業者、学生、行政が一体となって議論・検討し、それをだれもが認識し共有できる将来像を策定。 策定後、その実現に向けて各々の立場でまちづくりを行っていく。</p>																			
<p><b>② 関連する取り組み・計画</b></p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>他の計画・制度</th> <th>連携の位置づけ</th> <th>年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>下諏訪町第7次総合計画</td> <td>あり</td> <td>H28～R7</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>下諏訪町都市計画マスタープラン</td> <td>あり</td> <td>R2～R17</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>下諏訪町景観計画</td> <td>あり</td> <td>H24～</td> </tr> </tbody> </table>					他の計画・制度	連携の位置づけ	年度	1	下諏訪町第7次総合計画	あり	H28～R7	2	下諏訪町都市計画マスタープラン	あり	R2～R17	3	下諏訪町景観計画	あり	H24～
	他の計画・制度	連携の位置づけ	年度																
1	下諏訪町第7次総合計画	あり	H28～R7																
2	下諏訪町都市計画マスタープラン	あり	R2～R17																
3	下諏訪町景観計画	あり	H24～																
<p><b>③ 効果発現の経緯と成果</b></p> <p>下諏訪町は諏訪大社の門前町であり、まちづくり協議会の活動等を通して、旧宿場町の風情が保全されてきた。 令和3年度から、将来のあり方を誰もが認識し、共有できるよう、幅広い立場の方から意見を集約し、議論・検討を重ね、グランドデザインの策定を行っている。</p> <p>歴史文化を活かしたまちづくりというテーマの話し合いでは、「町には縄文時代の黒曜石や遺跡、江戸時代の宿場の面影、近代の製糸の遺構などの見どころや価値があるが、伝わりにくさがある。歴史を感じるイベントの開催や、歴史的な通り、路地の整備等が必要なのではないか。」といった意見が出された。</p> <p>令和3年度末には、そう言った方々からの意見を集約した「下ノ諏訪宿面影整備グランドデザイン（俯瞰図）」が完成した。</p>																			
<p><b>④ 自己評価</b></p> <p>本計画の主旨も盛り込んだ、将来あるべき姿、目指すべき姿のまちを1枚のデザインに描き、町民と共有することで同じ目標に向かったまちづくりの推進を図る。 現在策定中だが、今後さらに詳細な要所図を策定し、さらに明確な将来像を共有する。</p>		 <p>まち歩きの様子</p>  <p>策定委員会の様子</p>																	
<p><b>⑤ 今後の対応</b></p> <p>下ノ諏訪宿地区（秋宮周辺）に加え、他4地区のグランドデザインを策定していき、最終的に各地区のグランドデザイン（5カ所）を合わせた下諏訪町グランドデザインを策定し、目指すべき将来像を明確にしていきたい。</p>																			

市町村名	下諏訪町	評価対象年度	H21～R4
取り組み	A 歴史的風致形成建造物「伏見屋邸」の整備活用	種別	歴史的風致維持向上施設の整備・管理
<p><b>① 取り組み概要</b></p> <p>「伏見屋邸」は元治元年(1864)の建築と推定される中山道に面した商家であり、幕末の建築様式と明治初期の生活様式を今に伝える歴史的建造物である。最近まで、生活されてきたことにより明治の生活当時の建築から改変されている箇所があるうえに建物の傷みが激しい箇所もあるため、歴史的建造物として整備保存をし、民公協働による文化財の保存活用拠点とする。</p> <p>平成19年度：下諏訪社中学校とNPO法人「匠の町しもすわあきないプロジェクト」が協同して、歴史的建造物を活動の核とした地域まちづくり等の学習が始まる</p> <p>平成20年度：伏見屋邸土蔵の復元修理工事</p> <p>平成21年度：伏見屋邸の史実調査及び設計</p> <p>平成22年度：伏見屋邸復元修理工事</p> <p>平成23年度：ボランティア団体「伏見屋邸サポート倶楽部」による管理運営が始まる</p> <p style="text-align: center;">↓</p>			
<p><b>② 自己評価</b></p> <p>本事業の取組の以前は、建物の文化財としての評価が低く一時は解体も検討されたところであったが、下諏訪社中学校生徒とNPO法人がその価値を再発見して総合学習の場として活用されるに連れ、この住民活動が契機となって文化財としての評価の再認識が行われ、建物の保存整備事業に着手がされたことは、民公協働の文化財保存活用の進捗に大きな効果があったと考える。完成後も引き続き住民による活用が進められ、特にボランティア組織の「伏見屋邸サポート倶楽部」が発足し、維持管理のみならず、文化財の活用に向けた企画運営が積極的になされていることは、特に重要な成果であった。今後も、「伏見屋邸」を拠点として、文化財の普及啓発と生涯学習の推進、地域住民の芸術文化活動の活性化、観光の活性化等、民公協働の歴史まちづくりが推進されることが期待できる。</p>			
外部有識者名	一村 幸正(下諏訪湯田町まちづくり協議会会長、長野県地域景観リーダー)		
外部評価実施日	平成23年12月16日(令和4年8月12日再評価)		
<p><b>③ 有識者コメント</b></p> <p>「伏見屋邸」を残したいと言う下諏訪社中生徒の熱意が下諏訪町の関係機関を動かし、平成23年3月に「伏見屋邸」復元修理工事が完成しました。生徒たちが種々の学習の中から「古き良きものを残す大切さ」を学んだと語っているように、文化財の保存と言う素晴らしい経験をしたと思います。シルバー人材センター、NPO法人「匠のまちあきないプロジェクト」下諏訪社中生徒による「伏見屋邸サポート倶楽部」が発足して企画運営管理がされております。若い人から高齢者まで多くの住民の「おもてなし」の心で接客されているため、平成23年4月から11月までの入館者が8,127名と予想以上の入館者で賑わっております。三角八丁への参画、宿泊体験、二胡のコンサート、山野草展示会、拓本展示会等イベントも盛り沢山開催され、文化財の活用と普及啓発が推進されています。</p>			
<p><b>④ 今後の対応</b></p> <p>下諏訪町は、「伏見屋邸サポート倶楽部」の活動をしながら、文化財の普及啓発、生涯学習等の文化活動、地域住民活動、観光の拠点として、民公協働の運営管理に力を入れたい。</p>			



「伏見屋邸」開館記念式典

市町村名	下諏訪町	評価対象年度	H21～R4
歴史的風致	1 諏訪大社の祭礼に係る歴史的風致	状況の変化	維持
対応する方針	I 文化財をはじめとした歴史的建造物の保存整備 II 歴史的町並み景観の保全及び良好な景観形成 III 祭礼などの伝統文化の伝承 V 歴史的資産を核とした文化財ネットワーク VI 点在する文化財等の歴史資産とその周辺環境		
<p><b>① 歴史的風致の概要</b></p> <p>諏訪の地に生まれた者は先祖から代々諏訪のお明神様の氏子であると思っている人が多くいる。この意識は7年ごと、7年に1度の申と寅の年に行われる諏訪大社式年造営御柱大祭によく表れている。そんな熱い思いをもって生まれ育ってきた、諏訪大社の門前町かつ中山道と甲州道中の宿場町の環境が諏訪大社式年造営御柱大祭の歴史的風致となっている。また、諏訪大社下社は、春宮と秋宮の2社があり、半年ごとに祭神の御霊代を秋宮から春宮へ、春宮から秋宮へと遷座する古来の祭祀が伝わっている。厳かな雰囲気祭礼の行列が進行する様子と活気あふれる柴舟が曳行される祭礼の風情は早春と盛夏の季節の節目となって私たちの日々暮らしに織り込まれ、お祭りを迎える御旗や提灯が掲げられた沿道の趣と融和して、諏訪大社下社遷座祭の歴史的風致を形成している。</p>			
<p><b>② 維持向上の経緯と成果</b></p> <p>平成23年度諏訪大社下社春宮・秋宮における国指定重要文化財7棟、平成24年12月諏訪大社下社秋宮神楽殿の保存修理工事が行われ、7棟全ての保存修理を完了した。事業の推進により、国指定重要文化財については町内のすべての建造物について保存修理が完了し、指定した歴史的風致形成建造物についても復元修理が完了したことにより、周辺住民への歴史的建造物を核としたまちづくりの意識が広がり、地域の歴史的資産を活かしたまちづくり団体の活動が新たに発生し、「住民主体の歴史を視点としたまちづくり活動の活性化」方針についても進捗が見られた。</p>			
			
		<p>平成23年11月22日 国指定重要文化財 諏訪大社下社秋宮神楽殿工事実施状況</p>	
<p><b>③ 自己評価</b></p> <p>全国的な少子高齢化の進行の中で、下諏訪町の高齢化率は38.4%（令和2年10月1日現在）に達しており、国指定重要文化財を保存する諏訪大社においても少子高齢化の進行による氏子の減少などにより、建造物の修理費用の捻出が困難になりつつある中で、保存修理を完了。完了後今回（令和4年）と前回（平成28年）の2回に渡り、諏訪大社式年造御柱大祭が盛大に行われた。</p>			
<p><b>④ 今後の対応</b></p> <p>引続き関係機関と調整し、また各活動を通して諏訪大社の歴史文化を広く普及することで、国指定重要文化財の保存修理を推進していきたい。</p>			

市町村名	下諏訪町	評価対象年度	H21～R4
歴史的風致	2 お祭りに係る歴史的風致	状況の変化	維持
対応する方針	I 文化財をはじめとした歴史的建造物の保存整備 II 歴史的町並み景観の保全及び良好な景観形成 III 祭礼などの伝統文化の伝承 IV 住民主体の歴史を視点としたまちづくり活動 V 歴史的資産を核とした文化財ネットワーク VI 点在する文化財等の歴史資産とその周辺環境		

### ① 歴史的風致の概要

地区の鎮守を中心に道中長持ちの伝統を伝える集落や地区はその歴史も古く、そこに育つ人々は長持ち唄を子守歌に育ってきた。

これらの集落には茅葺平屋建ての町指定文化財島木赤彦住居に代表される歴史的建造物が残されており、賑やかな祭りの風情とこれらの歴史的建造物との調和による伝統的景観が伝えられている。

そうした伝統的景観が生活の場に共有され、下諏訪町独自の歴史的風致を形成している。

### ② 維持向上の経緯と成果

平成27年度島木赤彦住居の復元修理工事及び平成29年度高木津島公園整備が完了した。

この地区の歴史的風致は、高木津島神社を中心に活動され、祇園祭や道中長持ち等が色濃く伝えられている。

島木赤彦住居においては、祇園祭と併せて地域住民が行燈の設置や飾りつけを行い地域の歴史文化を伝承している。

高木津島公園では、整備後、地域住民による植樹、四阿設置、石蹴り（けんけんぱ）ペイント、草刈り等の民公協働による公園の維持管理が行われている。

これらの活動により、地域のコミュニティが活性化し歴史的な伝統文化が次の世代へと継承されている。



高木津島公園  
(地域住民による植樹)



町指定文化財島木赤彦住居



高木津島神社祇園祭



高木長持ち保存会

### ③ 自己評価

本計画に基づく事業の実施により、地域の活動が更に活性化され、文化財の保存と活用につながっている。

特に高木津島公園は、地域の愛着により積極的な活動が行われ、地域での交流が図られている。

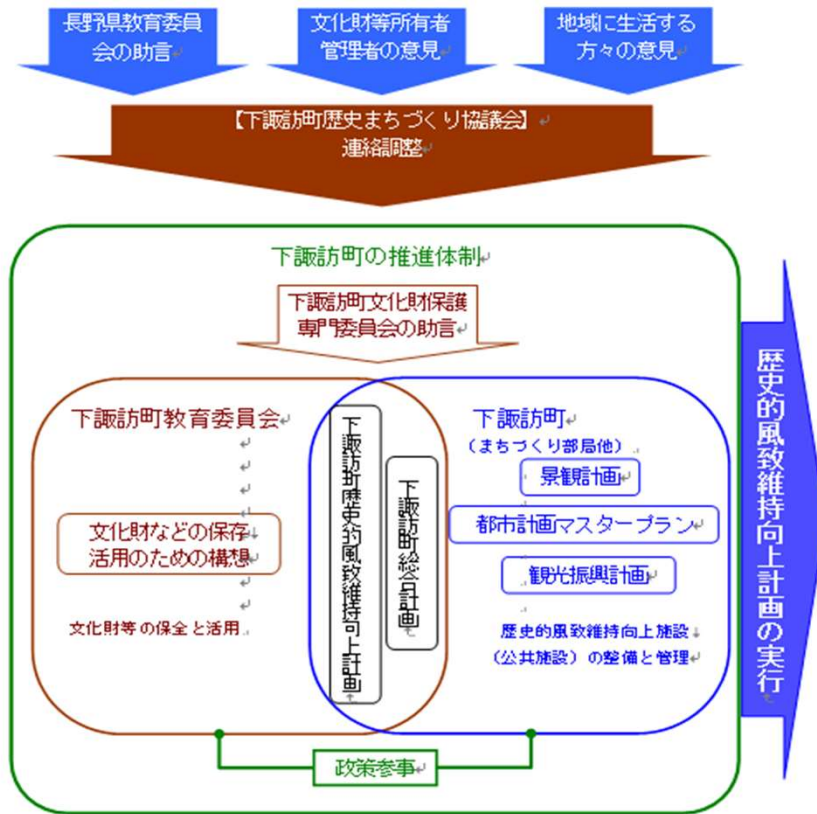
### ④ 今後の対応

今後も引き続き、地域の活動が行われ歴史文化を視点としたまちづくり意識が向上していくよう、意見交換を行うなど対応していきたい。

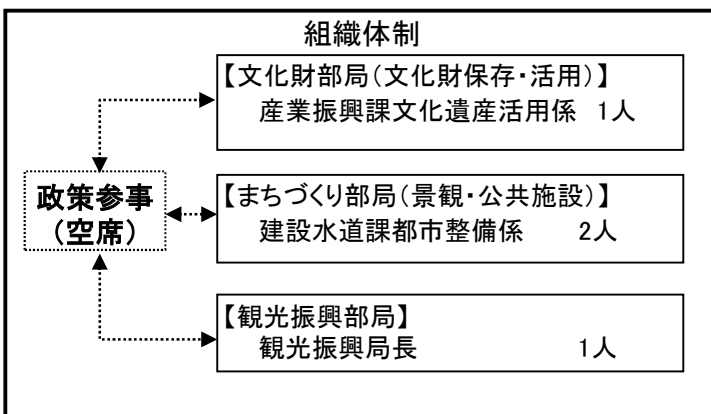
市町村名	下諏訪町	評価対象年度	H21～R4
------	------	--------	--------

① 庁内組織の体制・変化

本計画は、教育委員会、文化財等所有者、地域に生活する方々などから組織される下諏訪歴史まちづくり協議会と連絡調整を行い、庁内の文化財部局、まちづくり部局、観光振興部局が連携し、歴史的風致の維持向上を図ってきた。



歴史まちづくりの体制



歴史まちづくり協議会の様子

② 庁内の意見・評価

本計画に基づく事業の実施にあたり、文化財部局、まちづくり部局、観光振興部局による庁内担当者連絡会議を開催してきた。

各部署を横断的に統括する政策参事は配置できなかったが、その分、各部署同士の密接な連携を図ることを意識し実行してきたため、良い結果につながった。

市町村名	下諏訪町	評価対象年度	H21～R4																						
<b>① 住民意見</b>																									
◆パブリックコメントにおける意見 最終評価に対してのパブリックコメントを募集しましたが、意見の提出はなかった。																									
◆住民満足度調査(R4.12)の結果から 「住みやすい」「どちらかといえば住みやすい」と思った理由で「歴史や伝統がある町である」が29.67%で上位となっている。また、前回調査(R1.12)と比較して、「住みやすい」「どちらかといえば住みやすい」と回答した割合に大きな変化はないが、その理由として「歴史や伝統がある町である」と回答した割合が増加している。（前回調査25.33%→今回調査29.67%）																									
問13-1 問12で「1」または「2」と答えた方にお伺いします。そう思った理由は何ですか。次のうちからあてはまると思う番号を3つ以内で選択し、回答票に記入してください。																									
<table border="1"> <thead> <tr> <th>理由</th> <th>割合</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>コンパクトな町である</td> <td>37.67%</td> </tr> <tr> <td>美しい自然豊かな町である</td> <td>37.33%</td> </tr> <tr> <td>諏訪大社下社がある</td> <td>35.33%</td> </tr> <tr> <td>静かな町である</td> <td>32.67%</td> </tr> <tr> <td>温泉が豊富</td> <td>32.00%</td> </tr> <tr> <td>歴史や伝統がある町である</td> <td>29.67%</td> </tr> <tr> <td>御柱祭やお舟祭りがある</td> <td>13.00%</td> </tr> <tr> <td>住民の人柄がいい町である</td> <td>13.00%</td> </tr> <tr> <td>観光資源がたくさんある</td> <td>7.67%</td> </tr> <tr> <td>福祉・医療が充実している</td> <td>5.33%</td> </tr> </tbody> </table>				理由	割合	コンパクトな町である	37.67%	美しい自然豊かな町である	37.33%	諏訪大社下社がある	35.33%	静かな町である	32.67%	温泉が豊富	32.00%	歴史や伝統がある町である	29.67%	御柱祭やお舟祭りがある	13.00%	住民の人柄がいい町である	13.00%	観光資源がたくさんある	7.67%	福祉・医療が充実している	5.33%
理由	割合																								
コンパクトな町である	37.67%																								
美しい自然豊かな町である	37.33%																								
諏訪大社下社がある	35.33%																								
静かな町である	32.67%																								
温泉が豊富	32.00%																								
歴史や伝統がある町である	29.67%																								
御柱祭やお舟祭りがある	13.00%																								
住民の人柄がいい町である	13.00%																								
観光資源がたくさんある	7.67%																								
福祉・医療が充実している	5.33%																								
住民満足度調査(R4.12)より抜粋																									
◆下ノ諏訪宿面影整備グランドデザイン策定事業 ワークショップ(R3)から ・歩くきっかけづくりとなるよう、歴史的な通り、路地の整備が出来たらよいと思う。 ・伏見屋邸の「おもてなし」は面白いと感じる。まちあるきのポイントとして案内してもよいと思う。																									
<b>② 協議会におけるコメント</b>																									
<ul style="list-style-type: none"> <li>・歴史まちづくりに関しては、引き続きグランドデザイン策定事業で反映して欲しい。</li> <li>・諏訪大社や道祖神などは若い世代でも見に来る人がいるため、そういった若い世代の力も活かして歴史的風致の維持・向上につなげて欲しい。</li> <li>・町に点在する文化財等が点から面に繋がっていくよう、今後のグランドデザイン策定事業に取り組んで欲しい。</li> <li>・歴史的景観を活かしたまち歩きができるようになったことは成果として評価できる。</li> <li>・計画期間において目に見えるかたちで事業を継続してもらい、特に道路はきれいになった。</li> <li>・地域の層を増やしていくために各地区の分館活動とのつながりを強化していったらいいのではないか。引き続き、地域の意識啓蒙に努めて欲しい。</li> <li>・下諏訪町だけでなく、広域の文化交流を図ってほしい。</li> <li>・住民主体のまちづくりが行われていることは評価できる。今後、熱量の違いや高齢化による担い手不足が生じる可能性があるため、そのバックアップをお願いしたい。</li> <li>・点から面へ歴史まちづくりを進めていくために、各部局を横断的に統括するリーダーの設置を検討すべきではないか。</li> </ul>																									

市町村名	下諏訪町	評価対象年度	H21～R4
<p><b>① 全体の課題</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 本計画に記載されている事業のうち、道路美装化やポケットパークなど未整備となっている箇所があり、引き続き整備を進めていく必要がある。</li> <li>2. 計画終了後も本計画で培ってきたまちづくりの方針や考え方を継続して実施・展開していく必要がある。</li> <li>3. 諏訪大社や町が所有する歴史的建造物の保存整備は進んでいるが、個人所有の歴史的建造物について、保存修理が進んでいない状況である。</li> <li>4. 少子高齢化の進行によるまちづくり協議会への加入戸数の減少が続いており、また、新型コロナウイルスの影響によりイベントが中止となるなど住民活動が制約される状況となっている。そのため、今後の歴史文化を視点とした住民主体のまちづくり活動の担い手確保が困難になりつつある。</li> <li>5. 計画期間中に実施した事業により点在する歴史的建造物の保存整備は進んだが、今後はそれらの歴史資源を有機的に連携させ、文化財等を徒歩で回遊しやすい環境整備について検討していく余地がある。</li> </ol>			
<p><b>② 今後の対応</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 計画期間終了後も歴史まちづくりを継続的に進めていくために未整備箇所の整備や継続して実施する事業を着実に行うなど、引き続き良好な景観形成を促進するための市街地環境の整備に取り組んでいく。</li> <li>2. 今後の歴史まちづくりに関しては、現在策定を行っているグランドデザインの中で将来あるべき姿、目指すべき姿の議論・検討を行い、その将来像を民公で共有することで更なる実施・展開を図っていくとともに、引き続き市内の各部局同士で密な連携を図ることを意識して、歴史的風致の維持・向上を進めていく。</li> <li>3. 歴史的建造物の保存整備に対する支援措置等について周知を図るなど、保存整備の推進、さらには利活用に繋がっていくような支援を継続していく。</li> <li>4. 今後も地域住民の歴史文化を視点としたまちづくり意識が向上していくよう、まちづくり協議会の活動に対する助成等の支援を継続していく。</li> <li>5. 面的な歴史的景観形成の促進と回遊性のある文化財ネットワークの構築を目指して、今後更なる検討を進めていく。</li> </ol>			